

(様式2)

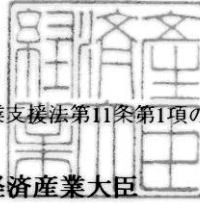
専 門 家 登 録

平成 28 年 7 月



(フリガナ) 氏 名	サトウ セツオ 佐藤 節夫	性 別	男・女	・取得資格等 中小企業診断士 (取得：H 21 年 5 月)
生年月日	昭和 23 年 11 月 10 日 (67 歳)			
連	名 称	S S コンサルティング		
	役 職 名	代表		
絡	住 所	勤務先 〒364-0001 埼玉県北本市深井 2-102-1 サンセレクト 102 自宅 〒364-0001 埼玉県北本市深井 2-102-1 サンセレクト 102		
	電 話	携帯:090-3404-4012 勤務先:048-543-0758		
先	F A X	048-543-0758		
	E-mail	Sato.s@crest.ocn.ne.jp		
	ホームペー ジ	http://satosetsuo.com/		

※資格証明書の写しを添付。

中小企業診断士登録証	
氏 名	佐藤 節夫
	昭和23年11月10日生
登録番号	406771
有効期間	裏面に記載
上記の者について、中小企業支援法第11条第1項の登録をしたことを証明します。	
平成26年3月29日	 経済産業大臣

自己 PR・セールスポイント

- 子供のころ、父親の事業が失敗し倒産したつらい経験が、中小企業診断士になった原点です。ゆえに「100年続く企業・事業承継」が私のコンサルテーマです。
- 「生産管理のプロ」です。前職の印刷会社では、約30年、一貫して生産管理を担当し工場経営を実践してきました。生産管理の手法も大きく変わり、今はITを抜きに生産管理は語れません。しかし、高額システムを導入しても使いこなせないのが中小企業の現状です。ExcelやAccessレベルで簡単に管理できるノウハウを提供します。
- もちろん「現場改善」もお任せください。5S・IE・VEの手法を駆使して、無駄を排除し、コストを削減し、利益の出る体質にします。

専門分野・職歴

- <製造業のコンサル>… S S コンサルティング
- ・ 5S・IE・VEなどによる現場改善支援
 - ・ 生産管理手法（計画作成・投入管理・進捗管理）による間接管理部門強化・効率化支援
- <第二創業・事業承継のコンサル>… 協同組合さいたま総合研究所
- ・ 事業承継計画書作成支援による事業承継の促進・「早期着手&長期計画」がカギ
 - ・ 後継者教育の継続的支援による経営基盤の強化・「中期経営計画作成」はヒトづくり

(学歴・職歴)

- 1972年3月 早稲田大学法学部卒業
- 1972年4月 凸版印刷(株)小石川事業部入社
- 2008年11月 凸版印刷(株)パッケージ事業本部定年退職
- 2009年5月 S S コンサルティング設立・開業…現在に至る
- 2010年10月 協同組合さいたま総合研究所ものづくり事業部入会…現在に至る

(様式2)

(研究・論文・著書等) 2014年3月 月刊雑誌「税理」(ぎょうせい刊)臨時増刊号「中小企業経営承継マニュアル」共著 2015年4月 月刊雑誌「税理」(ぎょうせい刊)平成27年4月号「利益計画・板金金物工事業」執筆

過去の主なコンサルティング業務は活動内容			
期 間	指導テーマと内容	指導企業・業種	依頼機関名
2014年8月 ～ 2014年12月	・指導テーマ「惣菜パンの販売と販促」 ・品揃えを豊富にするため惣菜パンを積極的に販売する計画であるが、訴求方法を模索していた。 ・新規創業補助金を申請し、チラシ等によるPR策の一助にした。	・製造・小売業 ・パン製造販売業	・さいたま総研
2014年12月 ～ 2015年5月	・指導テーマ「ドライフラワーの製造・販売」 ・八ヶ岳にある農場の花をドライフラワー化し、都内のお店で販売する計画の支援。 ・第二創業補助金を申請し、HPやチラシ等の作成費用を賄った。	・卸・小売業 ・アロマ物品小売業	・さいたま総研
2015年1月 ～ 2015年6月	・指導テーマ「外注管理の見える化」 ・発注管理が「口頭・紙ベース」なため、担当以外が進捗を把握できない状況があった。 ・指導は、簡単な「生産管理システム」を導入することで、注文書発行・荷札発行・納品書計上・請求書計上を連動化することで、担当外でもわかるようにした。	・製造業 ・プラスチック成形業	・さいたま総研
2015年7月 ～ 2016年6月	・指導テーマ「後継者教育」 ・帝王学として、①外部セミナー、②OJT、③経営者による教育があるが、どれも限界がある。 ・「中期経営計画」を作成するなかで、「経営者による教育」の代行を実践した。	・製造業 ・印刷加工業	・関係会社紹介
2015年12月 ～ 2016年12月	・指導テーマ「第二創業」 ・二代目の事業承継に当たり、「第二創業」として事業転換の方向性を模索する。 ・主要得意先の市場撤退などの事業環境の大きな変化があり、「中期経営計画」を作成する中で、板金業の専門化を目指している。	・製造業 ・板金業	・さいたま総研